

## 2. ユビキタスネットワーク～電子タグ技術等の展開～連携施策群の活動状況

### (1) 府省間等連携の活動状況

#### 1) 連携システムの構築

##### 1 ワーキンググループ会合、タスクフォース会合の開催

ワーキンググループ 平成17年度3回 平成18年度3回(10月末時点)

タスクフォース 平成17年度16回 平成18年度8回(10月末時点)

##### 2 協働化の進展

標準化状況の紹介、リーダー/ライター付携帯電話のデモ、医療分野での課題整理等による情報の共有、を実施した。

ISO標準(国際標準)準拠予定の“響チップ”(下記注参照)を連携施策群内でプロモートした。 [注“響チップ”は、経済産業省の施策による電子タグ。]

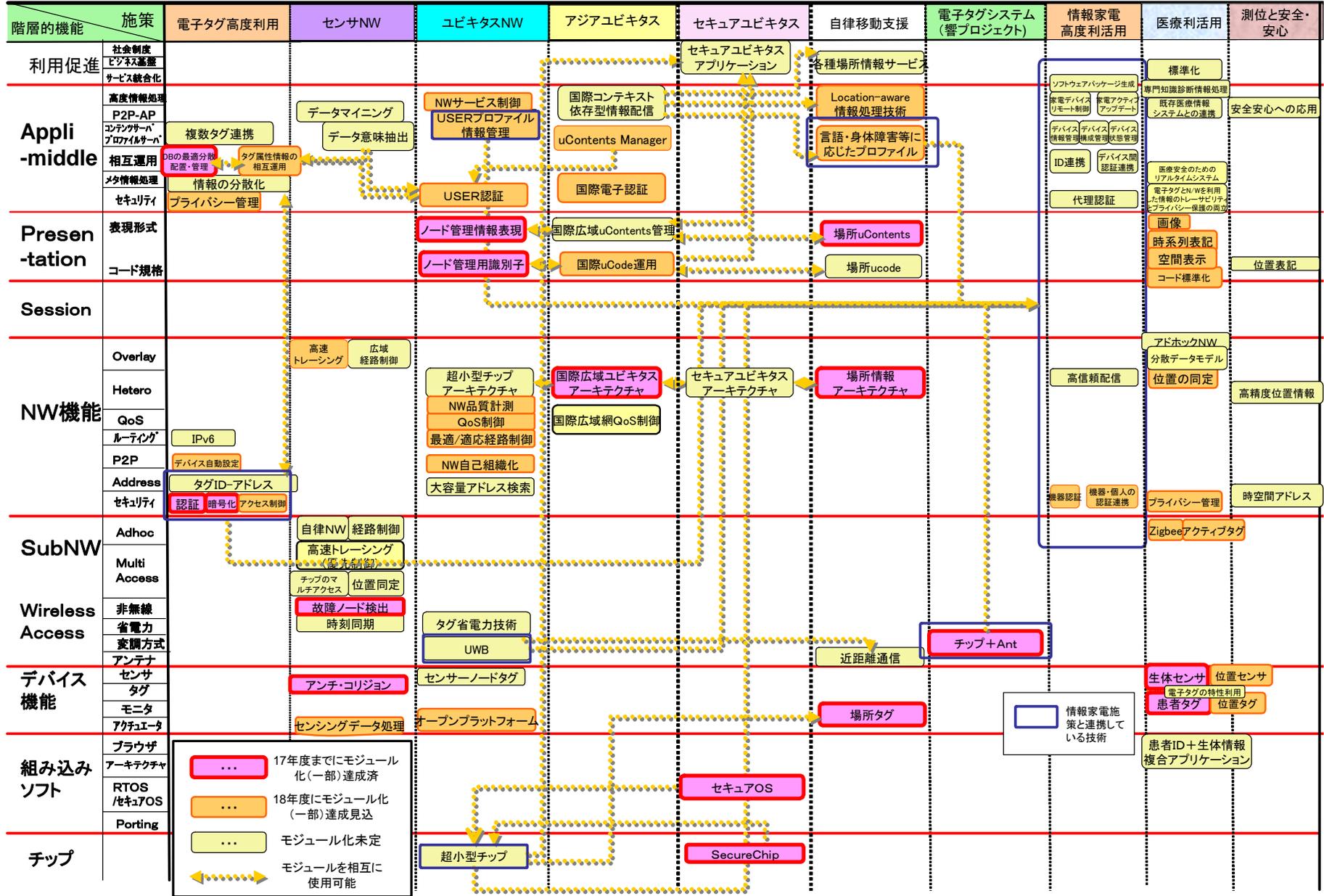
##### 3 関連技術マップ等の作成・共有化・活用

当該領域の全技術俯瞰図の共有化と各施策内/間でのインターフェース条件の明示・摺り合わせを推進している。

表1 ユビキタス連携施策群の対象施策と図4(次頁)における名称

図4における名称	施策名	所管
電子タグ高度利用	電子タグの高度利活用技術に関する研究開発	総務省
センサNW	ユビキタスセンサーネットワーク技術に関する研究開発	総務省
ユビキタスNW	ユビキタスネットワーク(何でもどこでもネットワーク)技術の研究開発	総務省
アジアユビキタス	アジア・ユビキタスプラットフォーム技術に関する研究開発	総務省
セキュアユビキタス	安全なユビキタス社会を支える基盤技術の研究開発	文部科学省
自律移動支援	自律移動支援プロジェクトの推進	国土交通省
電子タグシステム(響プロジェクト)	エネルギー使用合理化電子タグシステム開発調査委託費	経済産業省
情報家電高度利活用	情報家電の高度利活用技術の研究開発	総務省
医療利活用	医療分野における電子タグ利活用実証実験	(振興調整費)
測位と安全・安心	電子タグを利用した測位と安全・安心の確保(ユビキタスネットワークの斬新な利活用研究・実証)	(振興調整費)

図4 連携施策群「ユビキタスネットワーク－電子タグ技術等の展開－」施策の技術要素間連携図



#### 4 連携促進のための関連制度の充実

- ・ I S O標準準拠の“響チップ”

[注 “響チップ”は、国際標準（ISO18000-6TypeC）への相互接続性を確保し、UHF帯（860～960MHz）の周波数に対応した、価格5円を実現するための経済産業省施策。]

- ・ 商品コード体系の国際標準化（ISO/IEC15459-4）

#### 5 地域における連携活動の展開

大阪市や倉敷市での子供の安全・安心に関する実証実験や、神戸市での場所情報案内の実証実験等、各地で様々な実証実験が行われているが、なかでも青森県五所川原市では20エリア・約100店舗・約500商品という規模でショッピングナビゲーションシステムの実証実験を行い、地域の方にユビキタスネット社会の一つを実体験していただいた。

### 2) 予算への反映

平成17年度より、ヒアリング、意見交換等を通じて検討・精査し、各府省の施策において、不必要な重複がないこと及び連携可能な施策であることを確認した。

平成19年度概算要求において、本連携施策群で整理しているモジュール化の推進をふまえた計画を含め、要求を実施いただいた。

### 3) 他府省の成果などの活用

#### 1 相互活用を視野に入れた技術開発の進展（モジュール化等）

実用化・共用化の尺度としての“モジュール化率”をフォローすることにより、連携施策群による連携効果の、一層の向上を図る。

#### 2 同一サイトでの共同実施による成果結集

- ・ 総務省施策で研究開発した電子タグ（無線マーカ）を使用して、国土交通省施策の位置情報・店舗情報等の実証を神戸市等で実施している。

- ・ C E A T E C（ITとエレクトロニクス関連の大規模展示会）において、「ユビキタスネットワークシンポジウム2006ショーケース」や「RFID PLAZA」等の特別展示を実施した。

#### 3 情報発信・成果共有による成果の利活用促進

電子情報通信学会ソサイエティ大会（金沢大学）でのパネル展示を実施した。（平成18年9月）